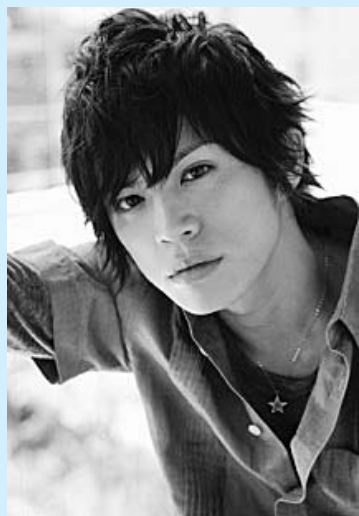


藤原まつり

春の藤原まつりのメイン行事、5月3日の「源義経公東下り行列」。源義経公役は俳優の山本裕典さん、藤原秀衡公役は一関市長の勝部修さん、北の方役は会社員の千葉亜也さんが務めます。



源義経公にふんする俳優 山本裕典さん



藤原秀衡公にふんする一関市長 勝部修さん



北の方にふんする会社員 千葉亜也さん

春の藤原まつり 行事日程

◆5月1日(木曜日)	◆5月2日(金曜日)	◆5月3日(土曜日)	◆5月4日(日曜日)	◆5月5日(月曜日)
藤原四衛公追善法要 稚児行列 開山大師並に藤原四衛公報恩法要 弁慶の力餅つき 郷土芸能	開山護摩供法要 郷土芸能 源義経公追善法要	長島小学校合奏団 平泉中学校吹奏楽部演奏 源義経公東下り行列 藤原秀衡公出迎行列 義経公ねぎらいの場再現 源義経公東下り行列 金色堂奉拝 平泉小学校マーチングバンド	白山神社献饌行列 白山御神事能動行 古実式三番 狂言「梟山伏」 神事能「竹生島」 哭まつり 町内神興 郷土芸能	延年の舞(重要無形民俗文化財) 唐拍子・若女彌宜・老女・王母ヶ昔 弁慶力餅競技大会 古実式三番「開口」 狂言「梟山伏」 能「田村」
10時 10時30分 10時 11時	10時 10時 11時	9時40分 10時30分 10時 12時40分 13時30分 15時20分 13時15分	10時 12時15分 13時30分 13時30分 13時 10時 10時	11時 10時 12時 12時30分 12時30分 13時
中尊寺本堂 中尊寺本堂 毛越寺本堂 町前広場	中尊寺開山堂 高館義経堂	中尊寺坂下出発 観自在王院跡 中尊寺坂下出発 毛越寺大泉が池 毛越寺 中尊寺金色堂 平泉小学校出発	中尊寺境内 能舞台 能舞台 能舞台 観自在王院跡阿弥陀堂 町内 町内	毛越寺 駅前広場 能舞台 能舞台 能舞台

放射線対策などについて意見を交換 まちづくり地域懇談会を開催

子どもたちの未来を考えよう
平泉の会と子供の笑顔を守り隊とのまちづくり地域懇談会が4月9日、役場201会議室で開催されました。

懇談会では、放射線量の測定や子どもの健康などについて意見を交換しました。主な内容をお知らせします。
(以下、主な質問など。Q↓質問、A↓回答)

放射線対策

Q 各行政区に放射線測定器を貸し出さなくなった理由は？
A 各行政区への貸し出しについては、申し込みの少ない行政区もあったことから、昨年9月で終了している。
放射線対策室では、引き続き貸し出しを行っているので、ご活用いただきたい。

Q ホールボディカウンターでの健康影響調査について
A 町議会で請願が採択されたホールボディカウンターによる測定も一つの方法だが、町として、在宅で検査が可能であり、県

や一関市、奥州市とも連携した形で、検査精度も比較的に高い尿検査を行っている。
Q 甲状腺検査を行ってほしい
A 甲状腺検査の実施可否の検討に当たっては、医学的、科学的な知見に基づいた専門家の意見を十分に尊重することが必要であり、今後とも国内外の科学的な知見、国や福島県の調査結果などを引き続き最大限の関心を持って注視し、町としての対応が必要な場合はその方策について検討していきたい。

Q 給食食材の1週間の平均的な検体数と1回に測定する検体数は？
A 給食食材は月曜日に、給食は水曜日にそれぞれ測定。1週間あたりの平均的な検体数は7〜8件である。1回あたりの検体数は3〜4件である。

Q 給食食材の測定を週2回としている理由は？
A 保護者などからの要望を受け、近隣市町の状態など勘案し

た結果によるものである。
Q 専属職員の測定以外の業務内容は何？
A 献立を基にした放射能検査対象の食材の選択、業者への連絡調整、検査後の結果のまとめ、ホームページへの掲載事務が主だが、測定に係る事務の手が空いた時には、教育委員会事務局の事務補助に当たっている。

Q 給食に使われる食材の産地について
A 産地の表示については、具体的に表示する方向で学校と相談したいと考えている。
ただし学校給食においては、地産地消を基本スタンスに掲げて運用していることについてご理解をいただきたい。

Q 加工品の検査について
A パンの原材料である小麦、味噌の大豆と米について、県が産地ごとにそれぞれ検査(測定)しており、放射性物質はいずれも不検出または基準値以下であることから、それらの加工品は測

定していない。

Q 尿検査の結果について
A 全体の結果についての説明会は、5月に開催を予定している。

Q 今後の放射線対策について
A 今後ホットスポットになりそうなところなどは、重点的に測定する。山菜やキノコについては、県と連携しながら継続的に検査をする。
農林系副産物の処理については、一関広域行政組合と連携して対応していく。子どもの健康影響調査については、専門機関の評価を尊重しながら対応していく。

Q 学校給食については、定期的な検査を行い、引き続き安全・安心な給食を提供する。

子どもの健康

Q 小学校で色覚検査をやめた時期と理由は？
A 色覚検査をすることが差別につながるなどのことから平成14年に学校保健法が改正され、施行義務がなくなったため、任意での実施としている。

Q 骨折をする子どもが多くなったことについて
A 調査は行っていないが、考え

られる要因としては、食生活や遊び方も含めた運動不足、車での通学などが影響しているのではないかと思う。



放射線対策などについて意見が交わされた懇談会

Q 体重増加の要因について
A 家庭における食事が、和食から洋食に移行しており、エネルギー量が相対的に多くなっていること、運動不足が要因ではないかと思う。

Q 子どもに落ち着きがなくなっていることについて
A 特別教育支援員の増員などで、子どもを取り巻く環境を整えていきたいと考えている。

3 広報ひらいずみ No. 683